



医療機関の役割分担について

先生から転院を
勧められたけど..
どうして？



現在は、一つの医療機関で治療からリハビリテーション、長期療養まで行うことは少なくなりました。医療機関の機能が専門分化してきて、得意分野に重点的に力を入れるようになってきています。そのため、患者さんの状態にあった病院に「転院」という仕組みになってきているのです。

【病院(病棟)の種類】

・一般病棟

身体の怪我や病気の検査、治療が目的の病院

・精神科病院（病棟）

認知症や精神疾患の検査、治療が目的の病院

・医療療養型病院（病棟）

病状は安定しているが、日常的な医療行為が必要な方が長期入院できる病院

・地域包括ケア病院（病棟）

治療終了後、自宅に帰るためのリハビリや退院準備が必要な方が最大60日間入院できる病院

・回復期リハビリテーション病院（病棟）

脳血管疾患や大腿骨骨折等の疾患治療後の方が重点的なリハビリを行える病棟(入院期間は疾病により異なります)

・緩和ケア病棟（ホスピス）

「末期がん」の経過にともなう痛みや苦しみに対する身体的ケア、精神的ケアが目的の病棟(症状緩和が付き次第退院となる病院もあります)



伊勢原協同病院の場合は・・・

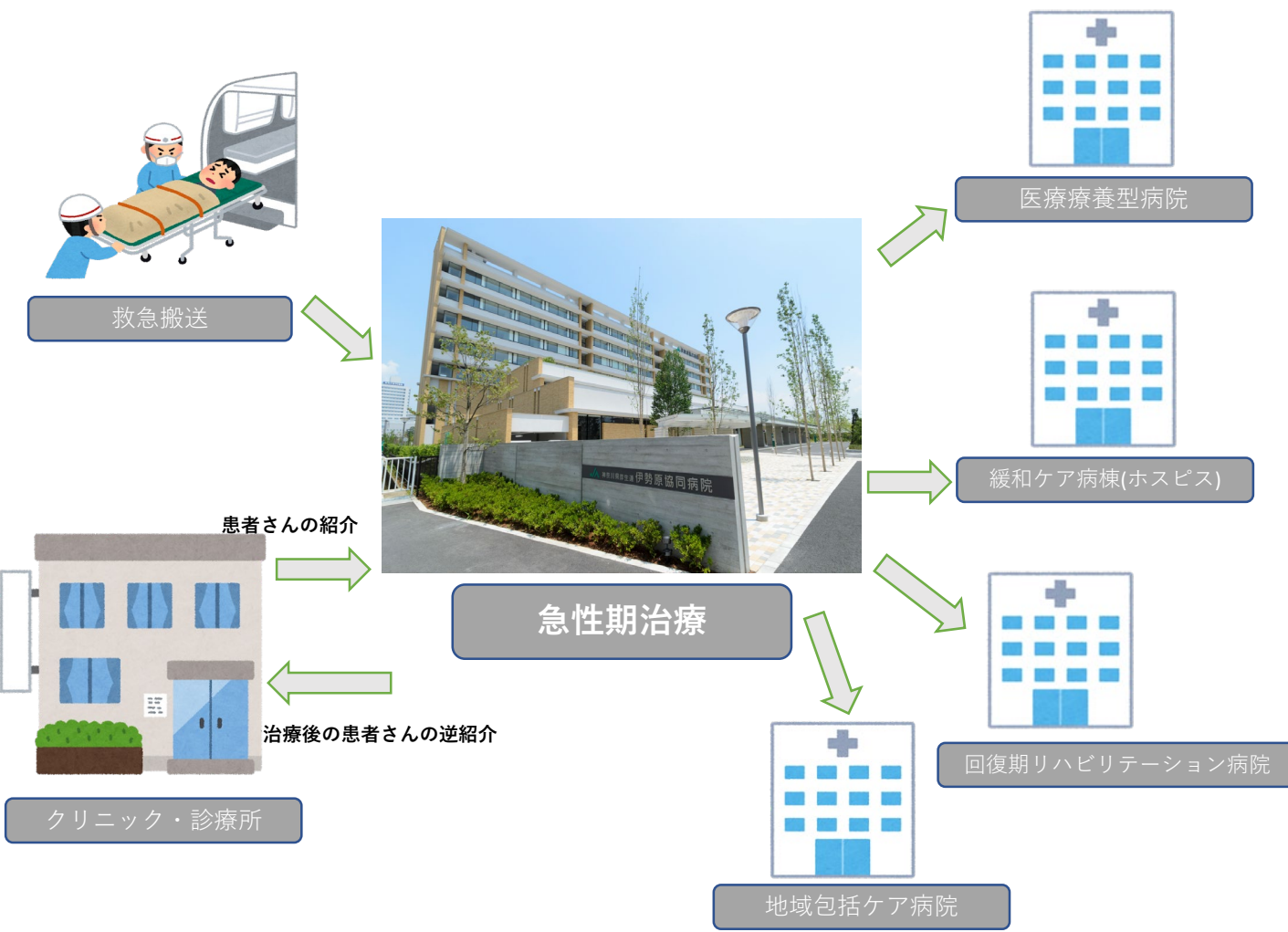
一般病棟 291床
回復期リハビリテーション病棟 45床
緩和ケア病棟 14床

なお、2023年度の一般病棟の入院患者平均在院日数は11.5日となっています。

一般病棟の入院日数は
そんなに短いのね



【医療機関の専門分化によるネットワークイメージ図】



患者総合サポートセンターでは、説明やご質問をお受けしています。ご不明な点はソーシャルワーカーまでお問合せください。

伊勢原協同病院 患者総合サポートセンター 0463-94-2111(代表)

※記載の内容は、2024年7月の情報に基づいています。今後の制度等の改正により、内容に相違点が生じる可能性があります。